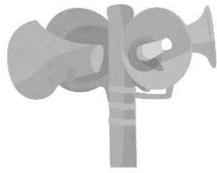


Jアラート（全国瞬時警報システム）の対応について



ミサイルの発射条件によって、きわめて短時間（1,600kmの距離を約10分）で飛来することが予想されます。ミサイルが飛行する方角・距離、その後の予測等の発表により判断します。

在宅時：自宅待機

「登校を遅らせる」または「休校」の場合のみ、COCOOで、各家庭に連絡をします。連絡がない場合は通常授業を行います。

在校時：学習を中断し、噴火避難と同じ対応をします。

ミサイルが通過し、安全が確認されたら活動を再開します。
引き続き、テレビやラジオ・インターネット等で情報を収集して対応します。

ミサイルが発射された場合

※ミサイル着弾時に、爆風や破片等による被害を避けるための行動を取る。

★屋内にいる場合

・窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。（2階にいる場合、1階へ）

★屋外にいる場合

- ・近くの建物（できればコンクリート造りの頑丈な建物）や地下に避難する。
- ・近くに建物がない場合は、木や壁等の物陰に隠れるか、地面に伏せて頭部を守る。

ミサイルが落下した場合

★屋内にいる場合

・換気扇を止め、窓を閉め、目張りして室内を密閉する。

★屋外にいる場合

- ・口と鼻をハンカチで覆いながら直ちに現場を離れる。
- ・密閉性の高い建物又は風上に避難する。



ミサイルが通過した場合

- ・避難行動をやめ、引き続き情報収集に努める。
- ・落下物らしきものを発見した場合は決して近寄らず、警察・消防に連絡する。